

# 子どもと共に

## 一年間、ありがとうございました。

# 卒業式・修業式

### 3月15日、3年生4名が中中を旅立ちました。



## 卒業式

### 校長式辞から

先ほど卒業証書を

手にされた誇り高き  
四名の卒業生の皆さ  
ん、ご卒業、本当に  
おめでとうございま  
す。皆さん四名を加  
え、これで7282  
名がこの学び舎、中  
島中学校を巣立った  
こととなります。

四月当初、校長と  
して赴任したばかり  
の私の不安をかき消  
してくれたのは、紛  
れもなく三年生四名  
の覇気ある挨拶、立  
ち振る舞いでした。  
皆さんの存在が、学  
校全体の雰囲気をも  
たらしめ、心安らぐ場  
にしてくれ、私自身と

発行人  
中島中学校  
校長 長野 真太郎  
松山市長師 817  
997-0204

でも安心できまし  
た。改めて、ありが  
とう。感謝の気持ち  
で一杯です。

思い返せば、令和  
二年三月に突然、学  
校が臨時休業とな  
り、未曾有の事態の  
中で小学六年生とし  
て一年間を過ごし、  
中中へ入学、コロナ  
禍における不安と  
もにマスクの着用が  
義務付けられた中学  
校生活、中三の五月  
に新型コロナウイルス  
感染症が五類に移  
行したことを受け  
て、やっと徐々に日  
常を取り戻せ始めた  
この一年・・・  
生徒教員合計七名で  
行った家族旅行のよ  
うな修学旅行、小中  
合同一期生として九

年目の大役を果たし  
た運動会、体験入学  
プロジェクトシオンマ  
ツピングとアロマの  
クラブ、四年ぶりに  
開催したトライアス  
ロン中島大会及び前  
夜祭、俳句集会・ジ  
ュニア俳句甲子園、  
卓球及び陸上競技総  
体、RNBこども音  
楽コンクール、面接  
練習等・・・一・二  
年次も含めれば、職  
場体験活動、群読コ  
ンクール等・・・数  
え切れないほどの足  
跡を皆さんは残して  
きましたね。その一  
つ一つの思い出、経  
験を通して、自慢の  
中中生として、一人  
一人がここまで成長  
してくれました。そ  
の頑張りに対し、喜  
びと感謝の気持ちで  
一杯です。ありがと  
う。これからも、皆

さんの成長が更に楽  
しみで仕方ありませ  
ん。  
そんな皆さんの門  
出に贈りたい言葉が  
二つあります。皆さ  
んも知っているかと  
思います。先日、  
アニメファンならず  
とも日本人として誇  
らしいニュースが流  
れましたね。宮崎駿  
氏のジブリ映画「君  
たちはどう生きる  
か」がアメリカにお  
ける第96回アカデ  
ミー賞長編アニメー  
ション賞を受賞しま  
した。この映画をま  
だ見ていない私です  
が、映画において、  
主人公の「母の形  
見」として、ちらつ  
きながら成長してい  
く存在です。失敗を  
失敗と悲観せず、下  
を向かず、自分の意

時代背景は90年近  
く前の昭和12年、  
15歳の主人公コペ  
ルくんこと本田潤一  
さんが、身近に起こ  
る様々な出来事や  
「叔父さん」との対  
話の中で、自らの疑  
問や内なる葛藤、失  
敗を成長につなげ、  
自己決定していく姿  
が描かれています。  
これを読んだとき、  
「どう生きるか」の  
問いに対する答えと  
して、私の頭に浮か  
び上がったきた、書  
道家相田みつを氏の  
言葉をまず皆さんに  
贈ります。  
『つまずいたって  
いじやないか にな  
げんだもの』  
我々人間は、つまず  
きながら成長してい  
く存在です。失敗を  
失敗と悲観せず、下  
を向かず、自分の意

志で、前向きに突き  
進んでいってくださ  
い。  
二つ目は、大谷翔  
平選手が高校三年時  
に書いた「人生設計  
シート」の一節です。  
これは彼自身が将来  
を「どう生きるか」  
真剣に考え、年齢別  
の明確な目標を書き  
記したものです。27  
歳でWBC日本代表  
MVPと書いた目標  
は、「存じのとおり  
昨年28歳で達成し  
ています。そこには、  
70歳辺りまで目標  
が書きつづられてい  
るのですが、そのシ  
ートの真ん中に書か  
れてある言葉を二つ  
目の言葉として贈り  
ます。  
『人生が夢をつくる  
んじゃない。夢が人  
生をつくるんだ。』  
世界のスーパースタ

―大谷翔平選手が、まさに十代において夢を抱き、その実現に向け、一步一歩前進、挑戦し続けている姿を、皆さんの前途に重ね、それぞれの進んでいく道を、私たち全員、全力で応援したいと心から思っています。

保護者の皆様、大切なお子さまのご卒業、本当におめでとうございます我々、中教職員、皆様のご期待にどれだけお答えできたか分かりませんが、本校教育活動に対し、いつも温かくご支援、ご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。これから先も、どんなに成長されましても、我が子は我が子、いつまでも気苦労が絶えま

せんが、どうぞ、広く大きな心で支え導き、見守っていただきますようお願いいたします。

ご来賓の皆様、ご多用の中お越しいただき、誠にありがとうございます。地域の皆様が手塩にかけて支え育ててくださった四人が、このように立派に巣立っていきます。これもひとえに、地域の皆様方のご支援の賜物であります。今後とも、温かいお声掛けやご厚情を頂きますようお願い申し上げます。結びに当たり、改めて、卒業生に問います。

『これから、君たちはどう生きていきますか』

前進、挑戦し続ける

四名の将来が、希望と笑顔、幸せで満ちあふれますことと、ご臨席の皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

### 旅立ちの風景

たくさん学びを得た、この中島中学校を卒業します。振り返ると、三年間の思い出がよみがえってきます。

期待と不安を抱え入学した一年生。新しい環境の中で、先輩方に引張られても、目力に全力で取り組みました。

少年の日を迎え、大人への第一歩を踏み出した二年生。群読やバンドなど新たなことに挑戦し、自

分自身と改めて向き合うことで、自信を持って行動する大切さを学びました。

そして迎えた三年生。修学旅行では、関西の歴史や文化を、実際に見ることで、教科書とは違う迫力と歴史を感じることもできました。四人だけで京都の町を回ったことも、いい経験になりました。

最高学年として後輩を引っ張ろうと頑張った小中合同運動会。中ソーランと応援合戦では、今まで支えてくださった方々に私たちの覇気を伝えようと全力でやり切りました。

最高学年としての自覚を持ち、何事も一生懸命取り組むことができました。どんな困難なことがあっても、四人で協力し合うことで仲間との大切さを実感しました。

あっても、四人で協力し合うことで仲間との大切さを実感しました。

この三年間様々なことに挑戦することになったのは、先生方、家族、何より仲間のおかげです。先生方、家族、何より仲間のおかげです。先生方、家族、何より仲間のおかげです。

### 後輩のみんな

運動会や文化祭などを成功させるためにどんなときも必死についてきてくれてありがとう。私たちが受け継いだ覇気が、中中の伝統を引き継いでいってください。応援しています。

地域の皆さん。登下校や学校行事の時など、いつも温かく見守ってくださいありがとうございます。おかげさまで安心して学校生活を送ることができました。今までの支えがあったおかげでいろいろな体験や挑戦をすることができました。高校では、ボランティア

家族、先生方、地域の皆さんなど、たくさんの方が支えてくださったおかげで、三年間充実した学校生活を送ることができました。高校では、中学校での経験を活かして長生きしてください。

今までの支えがあったおかげでいろいろな体験や挑戦をすることができました。高校では、ボランティア

を通過して支えてください。先生・地域の方々、本当にありがとうございます。

### 家族のみんな

15年間優しく、時には厳しく育ててくれてありがとう。家族には感謝しきれないほどたくさんのお面で支えてもらいました。辛いときにはそっと寄り添って話を聞いてくれる。そんな家族のおかげで今もずっと幸せに生活できています。これから健康に気を付けて長生きしてください。

今までの支えがあったおかげでいろいろな体験や挑戦をすることができました。高校では、ボランティア

今までの支えがあったおかげでいろいろな体験や挑戦をすることができました。高校では、ボランティア

ことができました。悩んだ時には、いつも親身になって話を聞いてくれてありがとう。本当に頼もしかったです。これからも迷惑を掛けるかもしれないけれど、これまで以上にたくさん恩を返すので、いつでも頼ってください。

いつもたくさんの場面で私を支えてくれてありがとう。親身になって話を聞いてくれたり、励ましてくれたりしてあり

がどう。家族の支えがあったから、つらいことも頑張ることができました。これからもたくさん迷惑を掛けるかもしれないけれど、今度は私が家族を支えられるよう頑張ります。

お父さん、お母さん。

ん。いつも一生懸命働いてくれたり、ご飯や洗濯など家事を頑張ってくれたりしてありがとう。イライラして言い合いになることもあったけれど、僕のために叱ってくれたこと、感謝しています。これからもたくさん迷惑をかけると思うけど、少しでも親孝行できるように頑張るので見守っていてください。

私たちはそれぞれの道を歩み始めます。中学校で過ごした日々の思い出は一生忘れません。

今まで本当にありがとうございました。



# 修業式

## 中島での挑戦

一年 愛紗尼

中島中学校に入学して、あつという間に一年がたとうとしています。入学する前は、新しい生活が楽しみな反面、新しい環境や友達関係、寮生活など、不安なことともたくさんありました。でも今は、中島中学校に入学して本当に良かったと思っています。新しい人間関係を築き、皆と仲良くなれていることがとてもうれしいです。

は自分に自信がなく、意見を言うことができませんでした。でも、寮で身の周りのことを自分でしたり、少人数の中で少しずつ意見を言ったりしていくうちに、自分に自信が持てるようになってきました。生徒会役員にも挑戦しました。生徒会では、私が提案した全校給食が実現しました。笑顔あふれる全校給食の時間がとてもうれしく、公約を果たすことができました。一方で、より良い学校にするために、もっとできることがあります。次は、生徒会役員ではないですが、中学生の一員として、より良い学校にできるように

協力していきたくです。四月からは、先輩になります。私が目指す先輩は、やるべきことをきちんとやり、信頼される先輩です。話し掛けやすい雰囲気づくりをし、積極的に声を掛けていきたいです。今までの先輩方のように、後輩にかっこいい背中を見せられるよう、精一杯頑張ります。明日から春休みが始まります。寮での生活リズムを崩さないように生活したいです。学習面では、一年生で不十分だったところを復習し、二年生で良いスタートが切れるようにします。普段なかなか一緒に過ごすことができない家族との時間を大切にし、有意義な春休みを過ごし

ます。私にとつて、この一年間で最も思い出深い出来事が、少年の日記念集会です。私は書道パフォーダンス係として、書道パフォーダンスのデザイン作成や準備を担当しました。デザインを決めるために学級で行った最初の話し合いでは、みんなの意見がバラバラで、大きく書くつもりで、小さく書くところから、時間をかけ学級で何度も話し合いを重ね、ようやく決まったのが「結(ゆい)」という一文字でした。この「結」には、「私たち二年生一

## 尊敬される中学生になるために

一年 七海

一人の絆をより強く結んでいきたい」「最高の結果を目指して努力したい」「その努力がいつか実を結ぶはずだ」といったようにたくさん思いが込められています。これまで、自分たちだけで何かを考え計画し、作り出す経験はありませんでした。実際、良いアイデアが出ず行き詰まったり、意見が食い違った。それでも、何とかやっていけたのは、同じ学級のみならず、仲間と助け合ふことのおかげです。意見を出し合い、支え合い、お互いカバーし合うことで、ようやく完成させることができました。大変なことをみんなと乗り越え、

仲間との信頼が生まれてきたように感じます。記念行事当日、二年生はたった十人と、三年生として今までも緊張しました。しかし、仲間を信頼していたからこそ、様々な方々やふるさと中島への感謝の思い、少年の日を迎える自分の決意を歌声や言葉に乗せ、精一杯伝えられたのだと思います。私は、この少年の日記念集会に関わるたくさんの経験を通して、仲間と助け合うことの大切さ、自分に与えられた責任を全うする大切さを身をもって知ることができました。そして、全てやり遂げた後には、自分の成長を実感できました。

四月からは最高学年となり、常に先輩として自覚ある行動が求められるようになります。だから、三年生として今以上に勉学や部活動などに励んでいきます。先輩としての責任を果たすこと。うまくいかないことがあれば仲間と支え合うこと。少年の日記念集会から得られたこれらの学びを胸に、後輩から尊敬される中学生になれるよう、さらに努力していきま

